



## 平成 28 年度 税制改正 法人関係①

平成 28 年度税制改正では、研究開発税制を堅持し、減価償却方法の見直し、設備等投資減税の縮減・廃止、外形標準課税の拡大、繰越欠損金の激変緩和措置などの制度改正により財源を確保して、法人税率を平成 28 年度に 23.4%、更に平成 30 年度に 23.2%に引き下げます。

### ■法人実効税率の引き下げ

#### 1. 法人税率の引き下げ

現行の法人税率 23.9%が引き下げられます。また、中小法人に対する軽減税率 15.0%は据え置かれます。

＜中小法人の場合（資本金 1 億円以下の法人）＞

| 所得金額     | H27.4.1～H28.3.31<br>に開始する事業年度 | H28.4.1～H30.3.31<br>に開始する事業年度 | H30.4.1以後<br>開始する事業年度 |
|----------|-------------------------------|-------------------------------|-----------------------|
| 年800万円超  | 23.9%                         | 23.4%                         | 23.2%                 |
| 年800万円以下 | 15.0%                         | 15.0%                         | 15.0%                 |

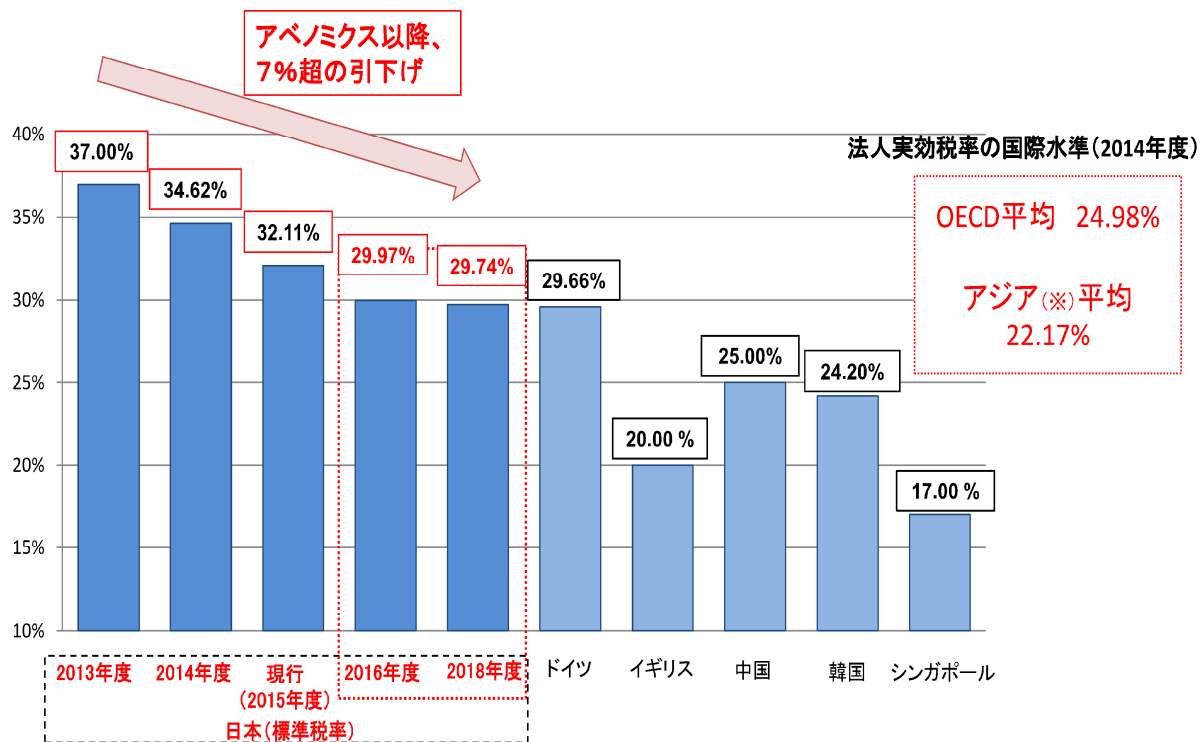
#### 2. 地方税を含めた法人実効税率

＜大法人（資本金 1 億円を超える法人）、または中小法人の所得年 800 万円超の場合＞

| 所得金額                   | H27.4.1～H28.3.31<br>に開始する事業年度 | H28.4.1～H30.3.31<br>に開始する事業年度 | H30.4.1以後<br>開始する事業年度 |
|------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-----------------------|
| 大法人<br>または中小法人の年800万円超 | 32.11%                        | 29.97%                        | 29.74%                |

#### 3. 法人実効税率の引下げ経緯と国際水準 ー法人税、法人住民税、法人事業税ー

平成 28 年度に 29.97%、平成 30 年度に 29.74%まで法人実効税率が引き下げられます。3 年連続で、2%を超える法人実効税率の引下げを実現し、平成 30 年度には、ドイツ並みの水準を実現します。



(出所)KPMG Corporate tax rates table等より経産産業省作成

※アジアとは、中国、香港、インドネシア、韓国、マレーシア、フィリピン、シンガポール、台湾、タイ、ベトナムの 10 国・地域

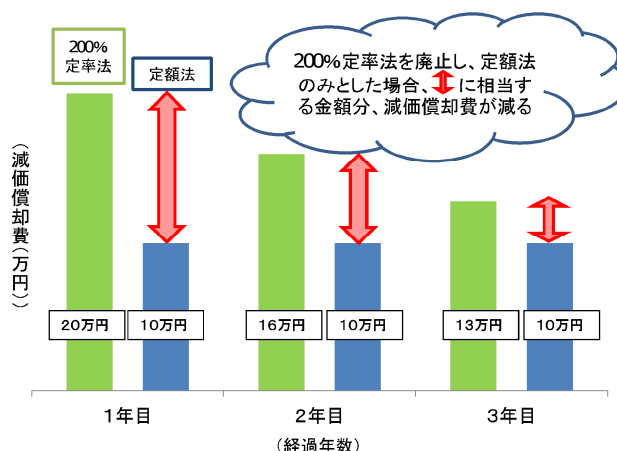
## ■減価償却方法の見直し

平成28年4月1日以後に取得する建物付属設備（エレベーター・自動ドアなど）、構築物（塙、駐車場の舗装など）の減価償却方法が、定額法のみとなります。

＜改正の対象となる減価償却資産＞

|           | 改正前     | 改正後        |
|-----------|---------|------------|
| 建物        | 定額法     | 定額法        |
| 建物附属設備    | 定額法・定率法 | <b>定額法</b> |
| 構築物       | 定額法・定率法 | <b>定額法</b> |
| 機械及び装置    | 定額法・定率法 | 定額法・定率法    |
| 船舶        | 定額法・定率法 | 定額法・定率法    |
| 航空機       | 定額法・定率法 | 定額法・定率法    |
| 車両及び運搬具   | 定額法・定率法 | 定額法・定率法    |
| 工具、器具及び備品 | 定額法・定率法 | 定額法・定率法    |

【100万円、耐用年数10年の減価償却資産を取得した場合の例】



## チャンスは一度！ 美術品等の減価償却資産の判定について

平成27年1月1日以後取得する美術品等の減価償却について改正が行われております。

### 改正前

下のいずれかに該当するものについては、「非減価償却資産」に該当するものとして扱う。

- ・美術関係の年鑑等に登載されている作者の制作に係る作品
- ・取得価額が一点20万円（絵画にあっては号当たり2万円）以上

### 改正後

一点の取得価額が **100万円未満**

【原則】 **減価償却資産**

【例外】「時の経過により**その価値が減少しない**ことが明らかなもの」は**非償却資産**とする。

一点の取得価額が **100万円以上**

【原則】 **非減価償却資産**

【例外】「時の経過により**その価値が減少する**ことが明らかなもの」は**減価償却資産**とする。

「時の経過により**その価値が減少する**ことが明らかなもの」として**減価償却資産**に該当するものとは？

例えば次に掲げる事項の全てを満たす美術品等が挙げられます。

- ①会館のロビーや葬祭場のホールのような不特定多数の者が利用する場所の装飾用や展示用（有料で公開するものを除く）として取得されるものであること
- ②移設することが困難でその用途のみに使用されることが明らかなものであること
- ③他の用途に転用すると仮定した場合、その設置状況や使用状況から見て美術品等としての市場価値が見込まれないものであること

## チャンスは一度！ 過去に取得した美術品にも適用あり！

平成26年12月31日以前に取得した美術品等で、平成27年1月1日以後最初に開始する事業年度（適用初年度）に減価償却資産に該当するかの再判定を行い、該当する美術品等に関し、適用初年度より減価償却が可能となります。

適用初年度において再判定を行わなかった美術品等については従来通りの取扱いとなり、今後基本的に減価償却を行うことはできませんのでご注意ください。

（北原隆幸・原剛志）

# ICT 教育を行う企業は生産性が高い

マイナンバー制度がスタートし、情報セキュリティへの関心がさらに高まっています。

## 【1】ICT 教育と労働生産性の関係

総務省の統計調査では、労働生産性と ICT 教育の関連性を調べており、平成 25 年の調査結果も合わせてまとめると右の表のようになります。

平成 25 年・26 年ともに、ICT 教育実施企業の方が、実施してない企業に比べて労働生産性が高いという結果になっています。

従業員への ICT 教育は ICT の知識や技術を高めるだけでなく、労働生産性の向上も期待できます。ICT 教育を行っていない企業では、従業員教育の一環として検討されてはいかがでしょうか。

ICT 教育実施の有無別の労働生産性（万円）

|      |      | ICT 教育の実施あり<br>の一社当たり労働<br>生産性 | ICT 教育の実施なし<br>の一社当たり労働<br>生産性 |
|------|------|--------------------------------|--------------------------------|
| 製造業  | 25 年 | 833                            | 614                            |
|      | 26 年 | 860                            | 614                            |
| 非製造業 | 25 年 | 827                            | 492                            |
|      | 26 年 | 732                            | 534                            |

総務省「通信利用動向調査」より作成

労働生産性＝（営業利益＋人件費＋減価償却費）÷従業員数

## 【2】ICT 教育実施割合は微増

調査によると、ICT 教育を実施している企業は全体の 34.9%と前年に比べ微増しました。実施事項をみると、業種全体では「社内の ICT 関連教育・研修プログラムの実施」割合が高く、業種別には金融・保険業やサービス業、その他では、「ICT 関連資格の取得に対する報奨金の支給」を行っている企業の割合が比較的高くなっています。

従業員の ICT 教育のために行っていること（%）

|           | 社内の ICT 関連教育・研修プログラムの実施 | 社外の ICT 関連教育・研修プログラムへの参加 | 社員の自主的な ICT 関連学習活動への金銭支援 | ICT 関連資格の取得に対する報奨金の支給 | 社員の自主的な ICT 関連学習活動への時間的支援 | ICT 関連技能・能力テストの実施 | その他の教育訓練 |
|-----------|-------------------------|--------------------------|--------------------------|-----------------------|---------------------------|-------------------|----------|
| 全体        | 13.2                    | 9.6                      | 6.4                      | 6.6                   | 2.9                       | 0.9               | 11.3     |
| 建設業       | 21.8                    | 10.8                     | 2.6                      | 9.6                   | 2.8                       | 2.5               | 17.7     |
| 製造業       | 13.3                    | 9.0                      | 8.5                      | 4.2                   | 2.1                       | —                 | 15.6     |
| 運輸業       | 6.6                     | 7.7                      | 3.6                      | 1.1                   | 2.6                       | —                 | 8.7      |
| 卸売・小売業    | 11.9                    | 6.8                      | 5.9                      | 3.2                   | 3.2                       | 1.9               | 9.0      |
| 金融・保険業    | 31.9                    | 23.9                     | 13.2                     | 29.0                  | 3.0                       | 3.0               | 16.5     |
| 不動産業      | 13.0                    | 14.2                     | 5.2                      | 8.8                   | 3.9                       | —                 | 9.6      |
| サービス業、その他 | 14.2                    | 11.5                     | 6.0                      | 11.1                  | 3.4                       | 1.1               | 8.9      |

総務省「平成 26 年通信利用動向調査」より作成

## 【3】ICT とは？

ICT とはインターネットやコンピューターなどに関する情報通信技術の総称です。

### 職員コラム ～ 暖かい冬 ～

佐久間 翔一

今年はあまり冬らしくない陽気が続いています。例年だと雪が積もる日も多く、雪かきにはうんざりしていますが、今年の冬は雪もほとんど降らず少しさみしい気もします。

さて、春も近づいてきて暖かくなってきましたので、年初に考えていた『今年やりたい』と思っていたことをそろそろ本格的に計画していこうと考えています。例年だと後回しにしているうちに年末になってしまう・・・という事も多くありますが、4 月からの新年度を前にしっかり計画を立てて今年は全て出来るようにしたいと思います。

話しは変わりますが、先週より J リーグが開幕しました。過密日程の緩和のために例年と比べ 1 週間早い開幕となります。私が応援しているサッカー松本山雅は昨年は J1 ですが、今年は J2 での試合となります。カテゴリは変わりましたが、前年と同様に厳しい戦いが続くと思いますが週末の楽しみでもあるので前年と変わらず応援したいと思います。

